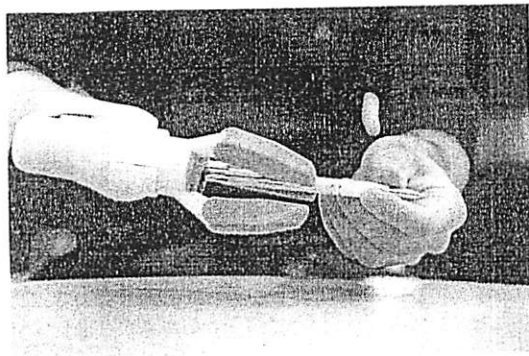


11月27日 10:54 (日) 21 21 21

個性発信
話題の商品

フィンチ
ダイヤ工業



価格10分の1の電動義手

ダイヤ工業（岡山市、松屋正男社長、086・282・1245）は、吉川雅博奈良先端科学技術大学院大学助教、河島剛天国立障害者リハビリセンター室長、山中俊治東京大学教授と共同開発した電動義手「フィンチ」を2016年1月から発売する。消費税抜き価格は10万円。距離センサーを用いることで、価格を筋電センサーを使う従来型義手の10分の1以下に抑えた。

「扱いやすく購入しやすく洗練されたデザイン」をコンセプトに設計。同社の専用サイトを通じて販売し、目標は国内で年1600本程度。本体はABS樹脂製で重さ380g。

筋肉の隆起を距離センサーで読み取り3本の指を操作する。衣服の上から装着可能で、短い訓練で紙やペンも把持できる。3Dプリンターで造形した装着部（ケット）は柔軟で面ファスナーを使い調節する。専門家によるフィッティングも不要で、購入者は用意されたサイズから自分にあったものを選べる。